

東北・被災地の事業者 × アジアのデザイナー 被災地におけるデザインの役割を示す滞在型プログラム「DOOR to ASIA」実施

国際交流基金と一般社団法人つむぎや（所在地：東京都新宿区、代表理事：友廣裕一）は、2018 年 7 月 24 日～8 月 4 日の 12 日間にわたり、アジア 8 カ国・地域から若手デザイナー 8 名を招へいし、岩手県陸前高田市・大船渡市、宮城県気仙沼市にて、滞在型プログラム「DOOR to ASIA」を実施いたします。

本事業は、デザイナーに被災地の特定の事業・商品を深く理解する機会を提供した上で、「これをあなたの国で広めるには？」というお題に対し、デザイナーが答えとなるコミュニケーション・デザインを制作・提案するプログラムです。2015 年に開始し、これまでに 12 の事業者、アジア 10 カ国・地域から 24 名のデザイナーが参加しました。東北の事業者にとって、自らの事業・商品の強みを新たな視点から捉え直すとともに、今まで考えたことなかった海外展開に真剣に向き合う機会となっています。実際に、このプログラムをきっかけに、気仙沼の水産加工事業者（2015 年受け入れ事業者）が、インドネシアのデザイナーとの協働を経て 2017 年に同国への商品輸出を実現しました。また、参加デザイナーには、東北の文化を知るだけでなく、アジア各地の共通課題である“地方創生”や“自然災害”におけるデザインの役割を実践的に学ぶ機会となっています。



■「DOOR to ASIA 2018」概要

期間：2018 年 7 月 24 日（火）～8 月 4 日（土）の 12 日間

場所：岩手県陸前高田市・大船渡市、宮城県気仙沼市、東京都内

スケジュール：

- 7 月 24 日（火） オリエンテーション（東京都内）
- 7 月 25 日（水） 東北へ移動、事業者と顔合わせ
- 7 月 26 日（木）～28 日（土） 事業者との対話・視察・研修
- 7 月 29 日（日） デザインワークショップ（岩手県陸前高田市）
- 7 月 30 日（月）～8 月 1 日（水） デザイン制作
- 8 月 2 日（木） デザイン提案プレゼンテーション（岩手県陸前高田市）
- 8 月 3 日（金） 東京へ移動、東京報告会
- 8 月 4 日（土） 東京視察・解散

参加デザイナー：Woo Yunige（韓国）、Nelson Ng（中国）、Desiree Niu（台湾）、
Yap Weng Nam（マレーシア）、Danis Sie（インドネシア）、Techit Jiro（タイ）、Dang Sering（フィリピン）、Samia Singh（インド）男性・女性各4名
受け入れ事業者：株式会社カネマ（鮮魚卸売・水産加工/宮城県気仙沼市）、
酔仙酒造株式会社（日本酒/岩手県大船渡市）、
株式会社箱根山テラス（宿泊・交流施設/岩手県陸前高田市）
主催：独立行政法人国際交流基金、一般社団法人つむぎや
特別協力（予定）：アクシスギャラリー、公益財団法人日本デザイン振興会
後援（予定）：岩手県、宮城県、陸前高田市、気仙沼市、経済産業省東北経済産業局

■プログラム概要

当プログラムにおいてデザイナーは、東北のある事業者のもとに3日間滞在し、対話や視察・研修を通じて、事業や地域そして事業者本人への理解を深めます。その後3日をかけて、その事業者の事業・商品とデザイナーの自国・地域をつなぐためのコミュニケーション・デザインを制作し、現地での滞在最終日に提案のプレゼンテーションを行います。下記の通り、プログラム期間中に、現地の子どもたちを対象としたデザインワークショップや、東京での報告会も実施します。

■関連イベントプログラム

1) 子どもデザインワークショップ

被災地の子どもたちと来日したアジアのデザイナーたちが、チームを組んで1日限りの小さなデザイン事務所をつくり、オリジナルデザインを生み出すワークショップ。現地の子どもたちに、夏休み中に海外とデザインに触れる機会を提供します。

日時：7月29日（日）13:00~16:00

場所：箱根山テラス（岩手県陸前高田市小友町字茗荷 1-232）

対象：小学3年生～中学生（定員25名）※小学生2年生以下は保護者同伴であれば参加可

協力：pensea Next Switch

2) デザイン提案プレゼンテーション

3日間を共に過ごした事業者に向け、デザイナーたちがそれぞれ事業者の商品・事業を自国・地域で広めるためのコミュニケーション・デザインを提案します。

日時：8月2日（木）14:00~17:00

場所（予定）：箱根山テラス（岩手県陸前高田市小友町字茗荷 1-232）

3) 東京報告会（仮称）

東京のプログラム関係者、デザインや地方創生に興味を持つ方に向けた報告会です。デザイナーたちの提案内容に加え、彼ら・彼女らが東北で何を見、何を感じたのかを話します。

日時：8月3日（金）18:30~21:30

場所：国際交流基金本部2階 ホール[さくら]（東京都新宿区四谷 4-4-1）

モデレーター：佐々木俊尚（ジャーナリスト）ほか

参加費：1,000円（懇親会費込）

参加申し込み URL：<https://door2018.peatix.com/>

■主催者・本事業に関するお問い合わせ：

国際交流基金 文化事業部事業第1チーム（担当：西藤、鈴木）／つむぎや（担当：友廣）

Tel: 03-5369-6061 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: info@door-to.asia

■取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp